

楠のまつりと歴史

平成27年10月11日(日)

13時から16時に開催しました

主催 みえ歴史街道構想四日市地域推進協議会
三重県四日市地域防災総合事務所
協賛 四日市市・菟野町・朝日町・川越町

午前中の小雨で鯨船練りの開催が心配でしたが、午後は雨もあがり、ウォーキングに最適な日和となりました。25名の参加者は近鉄名古屋線の北楠駅に12時30分より集合、みえ歴史街道構想 日市地域推進協議会委員の解説を聞きながら、大円山正覚寺、だいえんざんしょうかくじ 松山来教寺、けいしゅうざんらいきょうじ 四日市市楠歴史民俗資料館を見学し、楠駅前で「南楠鯨船まつり」を見学、約4kmをウォークしました。

北楠駅集合 会長挨拶の後、ウォークスタート



正覚寺



松並木の参道を通り、
正覚寺へ



成主正允の墓や、
公記念碑の解説



臨済宗妙心寺派の寺。開山は1361(康安元)年で、織田軍勢の兵火や第2次世界大戦の焼夷弾で焼失・再建を繰り返しました。楠家の菩提寺で、神変観世音菩薩坐像を安置しています。楠正成が残した「鎮守の霊符」(銅鏡)も拝見することができました。



来教寺

室町前期の創立で、1506(永正 3)年までは天台宗でしたが、今は真宗高田派です。安政大地震で本堂が傾き、明治時代に修理しました。現本堂は 1937(昭和 12)年に四日市市南富田町の善教寺旧本堂を移築しました。本尊阿弥陀如来立像のほか、廃寺となった華台寺・泰応寺の本尊も安置しています。



楠城跡、楠村神社が見える道路より、解説



四日市市楠歴史民俗資料館



楠歴史民俗資料館は、旧庄屋岡田屋を資料館として開放。楠の歴史を身近に感じることができました。語り部の田中様に、見学前の鯨船の解説を「立会所」の座敷でうかがい、その後、自由に資料館を見学、各所で語り部の方々にお話を聞くことができ、江戸時代から昭和初期の生活を感じることができました。



南楠鯨船まつり



南楠鯨船まつりは、2日間かけて地区内約40か所を練り歩きます。南御見東神社の氏子代表である練り先で「鯨突き」を披露することで、大漁・豊年に感謝し、練り先の繁栄や世の中の平和などをお祈りしています。

総勢250名あまりの幅広い年代の人が参加する勇敢壮美な迫力あるお祭りを近くで見学することができました。

鯨船「龍神丸」に踊り子、櫓漕ぎの子どもが乗り、鯨を探し、鯨と戦います。



親鯨がやってきました。丸目がメス、ツリ目がオス、激しく動き回ります。



鯨の反撃で、子鯨も走ります。女の子の姫鯨は鯨の目のあたりにピンクのリボンをつけています。



再び鯨を追い込み、踊り子が、鯨を仕留める銚を鯨に放ちます。



鯨を仕留めた後、祝い唄を歌い、龍神さまに豊漁を感謝し、大漁を誇り、練り先の益々の繁栄を祈って、次の練り先へ進みます。

ご参加いただきました皆さまありがとうございました